

平成 28 年 5 月 18 日

## 総合教育会議資料

# 「今後の中学校給食に係る 検討について」

教育委員会

# 今後の中学校給食に係る検討について

四日市市教育委員会

## 1 基本方針

生涯にわたって、健全な食生活を送る、心豊かな“よっかいち人”を育むことができるように、中学校給食を通して食育の充実を図る。

平成28年3月に出された「中学校給食検討会報告書」の提言を尊重し、子育て支援や全国の中学校給食実施状況を勘案し、食に関する指導を継続的・計画的に行えるよう、全員喫食を前提とした食缶方式の導入を目指す。

なお、食缶方式が導入されるまでの間は、現行の家庭弁当との併用制のデリバリー給食を工夫・改善しながら継続していく。

## 2 検討の内容

食缶方式には、自校調理方式、親子調理方式、共同調理場方式の3つがあり、報告書では、実現可能性等から判断して共同調理場方式が望ましいとしている。

当面、教育委員会としては、自校調理方式、親子調理方式、共同調理場方式の3つの実施方式を詳細に比較し、さらに実現可能性等を検討する。

検討の観点は次のとおりである。

### (1) 施設整備面

- ① 建設用地の必要性、導入の方法・時期（一斉導入の可能性）等
- ② 用地取得費や建設費、厨房備品・消耗品整備に係る費用等
- ③ 建設の方式（公設、民設）

### (2) 運営面

- ① 施設運営の方式（公営、民営）
- ② ランニングコスト（施設の維持管理費、人件費、配送費など）
- ③ 給食業務管理（食材調達や調理・配送に係る業務など）

### (3) その他

- ① 学校運営上の安全管理など

## 3 検討の方法

検討する項目と順序を整理した上で、検討内容に応じて、政策推進部、財政経営部、都市整備部、商工農水部等、庁内の関連する部署による「庁内基本構想策定委員会」を平成28年度に設ける。

・平成29年度 基本構想策定（予定）